

# 一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議(令和3年度 第1回) 書面会議結果(要旨)

## 議題1 第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組む事業の進捗状況等について

意見概要と事務局(政策課)回答は下記のとおり

資料 関連部分 (ページ番号と、 記載内容)	意見概要	事務局回答
全般	資料2の各表中の「事業概要及び令和2年度末までの進捗状況」の欄は、「事業概要」にし、合わせて主な事業の(進捗)状況を記載してはどうか。	「事業概要及び令和2年度末までの進捗状況」の欄は「事業概要」に修正する。主な事業の(進捗)状況は今からでは基準値の把握ができないので、第2期では記載しない。(担当:政策課)
全般	第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略で取り組む事業の中で、市制施行100周年記念事業と5G利活用実証実験以外に終了する予定の事業があるか、また新規に実施する事業はあるか。	現時点で他に終了する予定の事業は把握していない。新規に実施する事業がある場合は、本会議にてご報告する。(担当:政策課)
全般	実施されている様々な事業の成果について、もっと大きく情報発信をしてみようか。	どのような情報発信の方法があるか検討する。(担当:政策課)
全般	民間企業やNPO、団体等との協働の要素が実績評価に及ぼす影響を知りたい。資料1P5基本目標5①を除き、民間活力の機動性創造性活用が言われて久しいが、当地域では未だ弱く、その活用が効率的な事業達成に重要と思われるため。	協働の要素とその影響をどのように把握するか研究が必要。現時点では把握が困難ではないかと考えている。(担当:政策課)
基本 目標 1「希望」	資料2の3ページ「放課後児童クラブの待機児童数・教室の定員数」	コロナ禍の中で、子どもたちを誰も取り残さない基盤づくりが急務。目標達成の前倒し等、教室定員の増加、待機児童数ゼロ化が望まれる。
	資料2の4ページ「子ども医療費(保険診療分)の自己負担のグラフ」	Y軸の単位は負担割合か。
	資料2の6ページ「「学校が楽しい」感じている児童・生徒の割合」	小学生と中学生の数値の差は、勉強が要因では。魅力あふれる学校づくりと共に、学習支援を行う必要がある。
		施設整備は計画的に行っているため対応は難しいが、ご意見として今後の参考にさせていただく。(担当:子育て支援課、青少年課)
		お見込みのとおり、負担割合。(担当:政策課)
		「魅力あふれる学校づくり推進事業」でも学習支援は行っているが、ご意見として今後の参考にさせていただく。(担当:学校教育課)

資料 関連部分 (ページ番号と、 記載内容)	意見概要	事務局回答
資料2の8ページ 「転入者数」	転入者の多い地域はあるか。転入者の多い地域があれば、モデルケースとして検討できるため。	転入者数の多い連区(地域)は、大和町、丹陽町、木曽川で平成30年～令和2年の3年間、毎年1,000人以上転入している。また、丹陽町は出生数も多く、人口が伸びている。(担当:市民課)
資料2の8ページ ②「自然と楽しめる木曽川沿線の整備」	自然環境重視の中、指標が遊歩道等の整備総延長だけで良いか。国交省の指針等も検討し、また民間とりわけ自主活動とも協働し、自然公園整備等をコロナ禍の間の強化が望まれる。健全な担い手育成とSDGsに対応した長期的計画が既に遅れていると感じる。	施設整備は計画的に行っているため対応は難しいが、ご意見として今後の参考にさせていただく。民間との協働、SDGsに対応した取り組みは今後研究したい。(担当:公園緑地課、博物館政策課)
資料2の9ページ 「遊歩道・自転車道の整備総延長」	「備考:国との協議で一旦工事休止」とあるが、今後、再開の予定はあるか。	国とは毎年、工事について協議している。次年度以降も協議をするが、工事については現在は未定。(担当:公園緑地課)
資料2の11ページ ④「にぎわいを創出する中心市街地の活性化」	一宮駅周辺の土地の高度利用によるにぎわいの創出について、H30年度から進んでいない。市は本気で取り組むべき。	指標には表れていないが、高度利用型地区計画として「本町2丁目地区計画」を令和3年4月1日に都市計画決定した。今後も、中心市街地の活性化につながる地盤づくりを進めたい。(担当:都市計画課)
資料2の11ページ ④「にぎわいを創出する中心市街地の活性化」	「まちなかウォーカブル推進事業」はコロナ禍であるため進んでいない。また、国の事業としてではなく、市の事業として本格的に進めていくべき。	コロナ禍においてでも進められるまちなかの活性化の方法を官民が連携しながら検討していきたい。併せて、この事業が継続的に官民が連携して行えるようエリアプラットフォームの設立に向け、取り組んでいきたい。(担当:都市計画課)
資料2の11ページ 全体、とりわけ④「にぎわいを創出する中心市街地の活性化」	まちづくりを推進する都市再生推進法人の設置と活躍を、指標として取り入れることが望まれる。ウォーカブル事業がスタートする中、その設置がまちづくり全般に寄与すると考えるため。	都市再生推進法人の設置については、ウォーカブル事業の内容やまちづくりにおける必要性を整理したいため、研究を進めていく。また、ご指摘の民間活力等に関連した指標もどのように数値化するかを今後の研究材料としたい。(担当:都市計画課)
資料2の13ページ 基本目標3「魅力」	コロナの影響で七夕祭りが中止になったり、一宮市の良さをアピールできる機会が減って残念。商店街の魅力を伝えるイベントがもっとあるといい。	コロナ禍で思うように事業が進められない部分はあるが、中心市街地の活性化につながるよう取り組みたい。(担当:都市計画課、建築指導課、商工観光課)
資料2の13ページ 基本目標3「魅力」	名古屋から近く、適度に田舎である一宮市をもっとアピールできれば若い世代も移住しやすくなるのでは。	移住・定住を促進するため、PR動画を活用した広告やPR動画の視聴を促すリーフレットの作成・配布を行っている。今後も効果的なアピールの方法を模索したい。(担当:政策課)
資料2の13ページ 基本目標3「魅力」	七夕まつりが開催できない反面、駅構内等の装飾を通して、魅力ある明るい空間づくりは市民の「七夕」意識を高める効果があった。魅力ある駅として価値を高め、市民の実感を測る指標があると良い。	ご指摘の市民の実感を測る指標も、どのように数値化するか検討が必要なため、ただちに反映はできないが、今後の研究材料としたい。(担当:政策課)

資料 関連部分 (ページ番号と、 記載内容)	意見概要	事務局回答
基本目標 3 「魅力」	資料2の14ページ 「国営木曾三川 公園三派川地区 センターイベント の開催」	駐車場も広い、岐阜県からも近いので、イベント増強。
	資料2の15ページ ②「市の魅力・知 名度の向上」	名古屋・岐阜が近いけど、ビジネスホテル少 なく来れない。企業誘致もオファーばかりで 実現しない。
	資料2の16ページ 市制に関するメ ディア掲載回数	その他メディア露出で、質・量ともに向上が 強く感じられるため、統計の変更後の微減 は、コロナ禍の影響か、違和感がある。
基本目標 4 「活力」	資料2の22ページ 「テキスタイル産 業における人材 育成事業の受講 者数」	オンライン開催で移動の負担、コロナのリス ク回避などで受講者数が増加するのであれば、 コロナ収束後もリアルとオンラインの両 方で進めるなどの工夫を続けることが大切。
	資料2の22ページ 「テキスタイル産 業における人材 育成事業の受講 者数」	WEB開催分に参加者増であるので、他の事 業でもWEB化、遠隔化が可能であるものはし てはどうか。
	資料2の23ページ 「就職フェア参加 者数」	備考欄に「R2年度コロナ感染拡大防止対策 による事業規模縮小開催」を明記。
基本目標 5 「安心」	資料2の24ページ 「災害に強いまち づくりができてい ると思う人の割 合」	事務局としても、数値の低下はコロナ禍によ る社会不安の高まりが要因のひとつではな いかと推察している。リスク対応について、ご 意見として今後の参考にさせていただく。(担 当:危機管理課)
	資料2の24ページ 「災害に強いまち づくりができてい ると思う人の割 合」	割合が減った理由としては何を想定している か。
	資料2の26ページ 「犯罪発生件数 (刑法犯)のグラ フ」	基準値から発するようにしてはどうか。
	資料2の28ページ 「名鉄バス・iバ ス・iバスマニの 年間利用」	数値が大幅に減少しているが、これは COVID-19によるものと考えてよいか。

一宮市まち・ひと・しごと創生推進会議(令和3年度 第1回)  
書面会議にかかる意見 まとめ

議題2 国の交付金等を活用した事業について

- ・ 総合戦略のKPI達成に有効であった 9人
- ・ 総合戦略のKPI達成に有効であったが、改善は必要 7人
- ・ 総合戦略のKPI達成に有効だったとは言えない 0人

資料 関連部分 (ページ番号と、 記載内容)	ご意見	事務局回答
資料3全般	FDCの尽力は素晴らしいし行政のバックアップもあるが、さらに民間資源が活用され、とりわけ若い世代の諸力が自由闊達に具現化するような協働の推進が望まれる。	民間資源の活用等協働の推進について、今後の研究材料としたい。(担当: ファッションデザインセンター)
議題2全般	1つの分野のみに交付金は使うことになっているのか。一宮市のポテンシャルはこれ以外にも秘めていると感じる。	交付金の要件を満たせば他の分野でも年間5件まで交付金の申請は可能。事業によっては他の補助金を充てるなどしており、現状では要件を満たす事業はないが、今後も本交付金を有効に使用できるよう取組みたい。(担当: 政策課)